

健康横浜21推進会議 食育推進検討部会委員名簿

部会長以外五十音順

	役職	氏名	所 属
1	部会長	金子 佳代子	横浜国立大学 名誉教授
2		天貝 徹	一般社団法人 横浜市医師会 常任理事
3		飯 笹 光男	NPO法人 横浜ガストロノミ協議会 理事長
4		岩本 かおり	公益社団法人 神奈川県栄養士会
5		植木 美子	一般社団法人 ラシク045
6		君塚 義郎	株式会社 崎陽軒 常務取締役
7		小島 雅裕	横浜市場プロモーション委員会 副会長
8		菅 千明	はまふうどコンシェルジュ
9		長島 由佳	ユカナガシマ・クッキングサロン
10		松谷 英司	一般社団法人 横浜市食品衛生協会 副会長
11		望月 選	一般社団法人 F・マリノススポーツクラブ 理事
12		望月 悟	一般社団法人 横浜市歯科医師会 常任理事
13		守屋 努	JA横浜 組織部 組織生活課 課長
14		吉泉 英紀	公益財団法人 よこはま学校食育財団 理事長
15		米山 かおる	横浜市食生活等改善推進員協議会 会長

食育推進関係課長会議 委員名簿

令和6年4月現在

区局	補職	課長
1 緑区	福祉保健課長	森下 太幹
2 戸塚区	こども家庭支援課長	鋪 歓奈
3 経済局	中央卸売市場本場 経営支援課長	小川 靖人
4 こども青少年局	企画調整課長	柿沼 千尋
5 こども青少年局	保育・教育支援課長	大槻 彰良
6 こども青少年局	地域子育て支援課 親子保健担当課長	奥津 秀子
7 健康福祉局	企画課長	松村 健也
8 医療局	食品衛生課長	及川 知子
9 みどり環境局	農業振興課長	田並 静
10 資源循環局	3R推進課長	今村 貴美
11 教育委員会事務局	健康教育・食育課首席指導主事	三村 太郎

事務局（健康推進課）

局	補職	氏名
健康福祉局	健康推進課長	岩松 美樹
	健康推進課担当係長	林 勝己
	係員（栄養士）	鈴木 礼子
	係員（栄養士）	山田 薫
	係員（事務職）	一宮 裕美

食育推進検討部会設置要綱

制定 令和3年3月23日 健保事第4009号（局長決裁）
最近改正 令和5年3月24日 健保事第3956号（局長決裁）

（目的）

第1条 この要綱は、食育の推進に関して専門的見地から検討するため、健康横浜21推進会議運営要綱（以下「要綱」という。）第7条第1項に基づき設置する「食育推進検討部会」（以下「検討部会」という。）の運営に関し必要な事項について定めるものとする。

（検討事項）

第2条 検討部会は、次の事項について検討を行うものとする。

- （1）食育推進計画の策定に関する事項
- （2）食育の推進に関する事項
- （3）その他必要な事項

（構成）

第3条 検討部会は、要綱第7条第2項に基づき、健康横浜21推進会議（以下「推進会議」という。）の委員及び要綱第4条に基づき市長が任命した臨時委員のうちから推進会議の会長が指名する者をもって組織する。

（任期）

第4条 委員の任期は2年以内とする。ただし、委員に欠員が生じた時の補欠委員の任期は前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることがある。

（部会長等）

第5条 検討部会に部会長及び副部会長を置く。

- 2 部会長は、委員の互選によりこれを定める。副部会長は、委員の中から部会長が指名する。
- 3 部会長は、検討部会を代表し、会務を掌理する。
- 4 副部会長は、部会長が欠けたとき、その職務を代理する。

（会議）

第6条 検討部会の会議は、部会長が招集する。ただし、委員任命後、部会長選出前の検討部会の会議は、推進会議の会長が招集する。

- 2 部会長は、検討部会の会議の議長とする。
- 3 検討部会は、委員の過半数の出席により開催する。
- 4 検討部会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数の場合は、検討部

会の部会長の決するところによる。

5 検討部会を欠席する予定の委員は、第2条に関する意見を書面により事前に提出することができる。

(会議の公開)

第7条 横浜市の保有する情報の公開に関する条例（平成12年2月横浜市条例第1号）

第31条の規定により、検討部会の会議については、一般に公開するものとする。ただし、委員の承諾があれば、会議の一部又は全部を非公開とすることができる。

(意見の聴取等)

第8条 部会長は、検討部会の運営上必要があると認めるときは、関係者の出席を求める、その意見又は説明を聴くほか、資料の提出その他必要な協力を求めることができる。

(推進会議への報告)

第9条 検討部会は、会議内容を推進会議へ報告するものとする。

(守秘義務)

第10条 委員及び関係者は、検討部会の運営上知りえた秘密を厳守するとともに、これを他に利用してはならない。

(庶務)

第11条 検討部会の庶務は、健康福祉局健康推進課において処理する。

(委任)

第12条 この要綱に定めるもののほか、検討会の運営に関し必要な事項は、部会長が検討会の会議に諮って定める。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和3年3月23日から施行する。

附 則

(施行期日)

この要綱は、令和5年4月1日から施行する。

あなたのお店が横浜市民の健康を応援! 「ハマの元気ごはん」提供店登録制度を開始します

10月1日から、市の基準を満たした栄養バランスのよい食事である「ハマの元気ごはん」(セットメニューなど)を提供する店舗の登録制度を開始します。登録店舗は、市ホームページ等で積極的に周知します。

本制度の運用を通じて、「ハマの元気ごはん」を提供する飲食店やスーパー等が増えることで、市民の皆様が自然と栄養バランスのよい食事を選べる環境を整えていきます。

1 登録基準

エネルギーや野菜等の量などにより、6つの基準(別添資料1)を設定しました。

登録店舗には登録マークを交付しますので、販売促進や利用者への情報提供に活用ください。

2 申請方法

制度開始に向け、横浜市内の食品関連事業者の方からの登録申請を受け付けています。

令和6年9月13日現在で、64店舗が登録しています。(別添資料2)

【電子申請】

右側の
フォームから申請



横浜市電子申請フォーム

【窓口での申請】

店舗の所在する
区福祉保健センター
福祉保健課に
所定の様式を提出



様式はこちら

3 登録マーク(例)



R-A

R(レギュラー)
: 450~650kcal未満
女性やご高齢の方向け



L-A

L(ラージ)
: 650~850kcal
男性や身体活動量の高い女性の方向け

お問い合わせ先

健康福祉局健康推進課長 岩松 美樹 Tel 045-671-3376



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



あなたのお店が
横浜市民の健康を応援！



ハマの元気ごはん提供店

登録店舗大募集！

ハマの元気ごはん提供店とは？

外食や市販のお弁当を利用する市民の皆さまが、より健康になるために、栄養バランスのよい1食の栄養価の基準を満たした食事（セットメニュー・弁当）を提供する店舗を登録する制度です。

登録の流れ

1 登録するメニューの決定

「ハマの元気ごはん」の基準のどのサイズ・タイプに該当するか確認し、メニューを決定。

計算方法がわからない場合

区福祉保健センター・福祉保健課にご相談ください。
(裏面参照)

2 登録申込み

登録申込書（様式は横浜市ホームページに掲載）に記入し、お店の所在地がある区福祉保健センター・福祉保健課へ提出。

もしくは

横浜市電子申請システムでも申込みできます▶



3 PR用ロゴマーク受取

受付後、PR用ロゴマークのデータを受け取ります。

店頭でのPR等に活用してください。



登録タイプとPR用ロゴマーク

登録タイプの詳細は裏面で確認！

R（レギュラー）タイプ



L（ラージ）タイプ



登録にあたっての留意事項

- * 登録したメニュー（弁当等）を継続的に提供していることが必要です。
期間限定でなく、営業日は毎日提供されていることが必要ですが、朝の時間帯のみや土日を除いた平日のみの提供でも、登録対象になります。
- * 1食またはセットメニューでハマの元気ごはんの基準を満たした食事が対象です。ビュッフェ形式での提供は、対象外です。
- * 日替わり定食（弁当等）の場合の登録申請書類について
日替わりでは5メニュー、週もしくは月替わりの場合は4メニューを、登録時に提出してください。

ハマの元気ごはんR(レギュラー)



「ちゃんと」食べたい
一般女性やご高齢の方向け

ハマの元気ごはんL(ラージ)



「しっかり」食べたい男性や
身体活動量の高い女性の方向け

ハマの元気ごはんR(レギュラー)基準

	450~650kcal未満	タイプ		
		A	B	C
エネルギー	450~650kcal未満	●	●	●
主食	ご飯 150~180g	●	●	●
主菜(肉・魚・卵・大豆製品)	必ず入れてください。量の基準はありません。	●	●	●
副菜(野菜・いも・きのこ・海藻・こんにゃく)	140g以上	●	●	
	70g以上			●
脂質エネルギー比	20~30%	●		
食塩相当量	3.0g未満	●		

ハマの元気ごはんL(ラージ)基準

	650~850kcal	タイプ		
		A	B	C
エネルギー	650~850kcal	●	●	●
主食	ご飯 150~200g	●	●	●
主菜(肉・魚・卵・大豆製品)	必ず入れてください。量の基準はありません。	●	●	●
副菜(野菜・いも・きのこ・海藻・こんにゃく)	140g以上	●	●	
	70g以上			●
脂質エネルギー比	20~30%	●		
食塩相当量	3.5g未満	●		

留意事項

*副菜の重量は、野菜・いも類・きのこ類・海藻類・こんにゃくの使用量の合計とします。

*主食がご飯以外の場合は、炭水化物エネルギー比が50~65%の範囲に入ることを要件とします。

*B及びCの基準においても、食塩相当量は、R(レギュラー)は3.0g未満、L(ラージ)は3.5g未満に近づけることが望ましいです。

登録申込・お問合せ先

区	住所	電話番号	FAX	区	住所	電話番号	FAX
青葉区	青葉区市ケ尾町31-4	978-2441	978-2419	瀬谷区	瀬谷区二ツ橋町190	367-5746	365-5718
旭区	旭区鶴ヶ峰1-4-12	954-6146	953-7713	都筑区	都筑区茅ヶ崎中央32-1	948-2350	948-2354
泉区	泉区和泉中央北5-1-1	800-2445	800-2516	鶴見区	鶴見区鶴見中央3-20-1	510-1827	510-1792
磯子区	磯子区磯子3-5-1	750-2446	750-2547	戸塚区	戸塚区戸塚町16-17	866-8426	865-3963
神奈川区	神奈川区広台太田町3-8	411-7138	316-7877	中区	中区日本大通35	224-8332	224-8157
金沢区	金沢区泥亀2-9-1	788-7840	784-4600	西区	西区中央1-5-10	320-8439	324-3703
港南区	港南区港南4-2-10	847-8438	846-5981	保土ヶ谷区	保土ヶ谷区川辺町2-9	334-6344	333-6309
港北区	港北区大豆戸町26-1	540-2362	540-2368	緑区	緑区寺山町118	930-2357	930-2355
栄区	栄区桂町303-19	894-6964	895-1759	南区	南区浦舟町2-33	341-1185	341-1189

ハマの元気ごはん

提供店登録店舗一覧(五十音順、令和6年9月13日現在)

●スーパー・マーケット 62 店舗

イオン・イオンスタイル (11 店舗)

きのこごはんに、さばの塩麹焼や彩り豊かなおかずを盛り付け、秋を感じる一品に仕上げました。



きのこごはん&焼き鯖の和風弁当
タイプ:R-A

イトヨーカドー・ヨークフーズ (8 店舗)

甘酢あんに和えたボリューム感たっぷりのチキンと彩りの良い野菜で食べ応え満点の商品に仕上げました。



チキンと野菜の十八穀ごはん弁当
タイプ:R-C

白身魚と甘酢あんの相性抜群！パプリカとえんどうはあえてタレ和えしないことで、彩り良く仕上げました。



白身魚の天ぷらと野菜の十八穀ごはん弁当
タイプ:R-C

そうてつローゼン (26 店舗)

普段かつ丼や天丼などを食べている揚げ物好きな男性にも手に取ってもらえるような、「ハマの元気ごはん」の基準を満たしたボリュームのあるお弁当です。



ハマの元気ごはん弁当
タイプ:L-A

国産鶏むね肉のつくねにおろしソースかけてさっぱりと仕上げた、食べ応えのあるお弁当です。



ハマの元気ごはん弁当
タイプ:R-A(11月発売)

FUJI・Petit Marché FUJI (17 店舗)

つくねと野菜ロールは鶏肉にすることでヘルシーながらも満腹感があります。PFC バランスが整ったカラダにウレシイお弁当です。



ハマの元気ごはん弁当
タイプ:R-A(11月発売)

●飲食店 2店舗

カフェレストラン洗濯船(磯子区)



牛たんシチューsett
タイプ:L-B

磯子の逸品。じっくり煮込み、素材の旨味が溶け出した滋味豊かなソースととろける程柔らかいタンです。

フィオーレ(戸塚区)



ステーキ ガーリックライス
タイプ:L-C

ガーリックライス添えの牛肉ステーキが人気です。シェアしても楽しめるボリュームのある一品です。

ハマの元気ごはん提供店登録店舗一覧 (店舗名五十音順) (令和6年9月13日現在)

区	店舗名	所在地
青葉区	イトーヨーカドーたまプラーザ店	美しが丘1-6-1
旭区	そうてつローゼン希望が丘店	中希望が丘97-12
	そうてつローゼン左近山店	左近山16-1
	そうてつローゼンジョイナステラス二俣川店	二俣川2-50-14
	そうてつローゼン白根店	中白根2-1-7
	そうてつローゼン鶴ヶ峰店	鶴ヶ峰2-82-1
	そうてつローゼン南まさきが原店	柏町130-1
泉区	イトーヨーカドー立場店	中田西1-1-15
	そうてつローゼンいづみ中央店	和泉中央南5-4-13
	そうてつローゼンいづみ野駅前店	和泉町6214-1
	そうてつローゼンひなた山店	上飯田町4702-1
	そうてつローゼンゆめが丘ソラトス店	ゆめが丘31番地
	そうてつローゼン山手台店	領家2-10-1
	そうてつローゼン弥生台駅前店	弥生台16-1
	そうてつローゼン緑園都市店	緑園4-1-2
磯子区	カフェレストラン洗濯船	久木町20-3
	そうてつローゼン磯子店	磯子1-2-1
	FUJI 上中里店	上中里町795
	FUJI 根岸橋店	丸山2-16-18
神奈川区	イオンスタイル東神奈川	富家町1
	そうてつローゼンオルト新子安店	新子安1-2-5
	FUJI 菅田店	菅田町1793
金沢区	イオン金沢シーサイド店	並木2-13-1
	イオン金沢八景店	泥亀1-27-1
	そうてつローゼン釜利谷店	釜利谷東7-2-13
	そうてつローゼン並木店	並木1-2-5
	ヨークフーズ六浦店	六浦5-20-5
港南区	イトーヨーカドー上永谷店	丸山台1-12
	そうてつローゼン港南台店	港南台3-1-3
	FUJI 上大岡店	上大岡西1-16-23
	FUJI 芹ヶ谷店	芹が谷5-1-1
	FUJI 野庭店	野庭町642-4
	ヨークフーズ上大岡店	上大岡西3-9-1

区	店舗名	所在地
港北区	イオン横浜新吉田店	新吉田東8-49-1
	イオンスタイル横浜高田	高田西1-1-47
	FUJI 鳥山店	鳥山町75
栄区	イトーヨーカドー桂台店	桂台中15-1
	FUJI 小菅ヶ谷店	小菅ヶ谷1-27-33
	FUJI 天神橋店	公田町1638
	FUJI 本郷台店	小菅ヶ谷1-2-2
瀬谷区	イオンスタイル横浜瀬谷	瀬谷4-4-10
	そうてつローゼン三ツ境店	三ツ境2-19
	FUJI 橋戸店	橋戸2-36-1
鶴見区	イオン駒岡店	駒岡5-6-1
	FUJI 馬場店	馬場3-10-45
都筑区	イトーヨーカドーららぽーと横浜店	池辺町4035-1
	そうてつローゼンセンター南駅前店	茅ヶ崎中央1-2
	そうてつローゼンモザイク港北店	中川中央1-31-1-0190
戸塚区	イオンスタイル戸塚	吉田町884
	イオンスタイル東戸塚	品濃町535-1
	フィオーレ	品濃町521-2 ルミエール201
中区	イオン本牧店	本牧原7-1
	Petit Marché FUJI 山元町店	山元町4-183
保土ヶ谷区	イオンスタイル天王町	川辺町3-5
	そうてつローゼン上星川店	上星川3-1-1
	そうてつローゼン笹山店	上菅田町1032-1
	そうてつローゼン星川駅前店	星川1-1-1
	FUJI 新井町店	新井町565-1
	FUJI 新桜ヶ丘店	新桜ヶ丘2-40-8
緑区	FUJI 保土ヶ谷店	岩井町11
	そうてつローゼン十日市場店	十日市場町807-1
南区	イトーヨーカドー横浜別所店	別所1-14-1
	そうてつローゼン六ツ川店	六ツ川3-75
	FUJI 横浜南店	南太田1-21-6

Wellness Port YOKOHAMA ~第3期健康横浜21いざ出航~ (実施報告)

横浜市と横浜市立大学の共催による「第3期健康横浜21」のキックオフイベントを開催しましたので報告します。

このイベントは、横浜市立大学学生有志が発案・企画し、健康横浜21の関係機関・団体が運営に協力することで、来場者に「市民の行動目標」を「楽しく学ぶ」機会を提供しました。

1 イベント概要

内容	<p>■ステージ企画 ①挨拶（副市長/横浜市立大学学長） ②パネルディスカッション ③運動企画</p> <p>■測定・体験ブース 「健康横浜21」関係機関・団体を中心とした出展（11団体）</p> <p>■駅構内企画 みなとみらい線 みなとみらい駅・馬車道駅での健康クイズラリー</p> <p>■献血</p>
対象者	一般市民
日時	令和6年8月8日（木） 11時～16時
場所	市庁舎1階 アトリウム、みなとみらい線 みなとみらい駅・馬車道駅
広報	<p>■横浜市：記者発表、ホームページ、LINE、X、YCAN（庁内イントラネット） チラシ/ポスターの印刷、区役所での配架、ほか</p> <p>■横浜市立大学：特設ホームページの開設、イメージ動画の作成、Instagram、 チラシ/ポスターの作成および大学内での配架、ほか</p>
協力団体	横浜高速鉄道株式会社（駅構内会場貸出など）

当日の会場の様子



2 参加者数

ステージ企画（着席者）	ブース企画（体験者）	献血	合計
325	1,552	27	1,904

3 感想

来場者	<ul style="list-style-type: none">初めて血管年齢を測った。健康を意識するきっかけになった。10年前より骨密度が下がっていた。家族にも測定させたい。偏食気味の我が子が栄養のブースに参加した後、栄養バランスを意識した食事を選ぶようになった。姿勢には気を付けていたが、ゆがんでいると言われて驚いた。体操しようと思う。建物を工夫することでヒートショックが防げるとは、新しい知識だった。
従事者	<ul style="list-style-type: none">世代や組織を超えて『横浜市民の健康』に向けて活動している方々の多さやパワーを感じて刺激になった。

4 総括

- 本市の健康づくりを担う関係機関・団体が多数ブース出展し、パネルディスカッション等にも御登壇いただいたことで、「第3期健康横浜21」のキックオフにふさわしいイベントとなった。
- 学生が企画・立案・運営したことにより、柔軟なアイデアを活かしたイベント企画となり、若年層の参加にもつながった。
- 本イベントを通して、学生や本市としても大変貴重な経験をすることができ、また、「学生、行政、関係機関・団体」がともに取り組むことで一体感が生まれ、第3期健康横浜21を推進する新たな活力が生まれた。

5 参考

(1) イベント特設ホームページ

https://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~p_health/wpy/



(2) ステージ企画の You-Tube 配信

https://www.youtube.com/live/xEXUPaKcz_c

※イベント当日のステージ企画の様子がご覧になれます。



(3) メディア掲載実績

日付	メディア名	タイトル
令和6年8月6日	Yahoo!JAPAN	市民の「健康」への気づきへ。「横浜市の医大生ら」による8月8日開催「健康イベント」とは
令和6年8月9日	神奈川新聞社	調剤体験に夢中 1日限りの健康テーマパーク 横浜市立大の学生有志が企画

考えよう、健康。
延ばそう、健康寿命。



Wellness Port YOKOHAMA

～第3期健康横浜21いざ出航～



健康を身近に感じることができるパネルディスカッション・
体を動かすステージ企画、測定・体験、献血ブースが横浜市役所に勢ぞろい！

健康クイズラリー「わたしの健康謎解き」を同時開催！

2024.8.8 THU 11:00-16:00

横浜市庁舎1Fアトリウム／オンライン参加可能

【共催】横浜市、横浜市立大学 【企画運営】横浜市立大学学生有志（代表：医学部医学科 菱田真衣花）

【事務局】横浜市健康福祉局健康推進課、横浜市立大学公衆衛生学教室 【運営協力】第3期健康横浜21関係機関・団体、

横浜市立大学 COI-NEXT「若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現するメタケアシティ共創拠点」

お問い合わせ 横浜市健康福祉局健康推進課 Tel. 045-671-2454 横浜市立大学公衆衛生学教室 Tel. 045-787-2610

特設サイト



CONTENTS

コンテンツ

第3期健康横浜21の

横浜市民の主要な健康課題に対応して

ステージ企画や測定・体験ブースを実施します！

献血や周辺駅からの健康クイズラリーも！！

ブース

ブース	出展内容	健康課題	出展団体名
A	姿勢チェック／握力測定／立ち上がりテスト	7	横浜市スポーツ協会
B	ゲームやメタバースで心からだをサポート	10	横浜市立大学 COI-NEXT「若者の生きづらさを解消し高いウェルビーイングを実現するメタアシティ共創拠点」
C	血管年齢測定	1	横浜市保健活動推進員会
D	肌年齢測定／調剤体験	5	横浜市薬剤師会
E	野菜摂取量チェック／料理カード	1,4	神奈川県栄養士会／横浜市食生活等改善推進員協議会
F	禁煙に関するパネル展示／肺年齢測定	5	禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議

横浜市民の主要な健康課題



ステージ企画

11:00 OPENING

11:20-12:00 TALK 01「集え、新星。一次世代が繋げる健康会議ー」

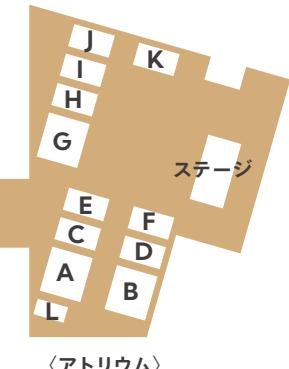
12:00-12:15 今日から始める！座ってエクササイズ

12:20-13:20 TALK 02「現代社会を生き抜く女性の健康戦略」

会場マップ

アトリウムの隣、
市民協働推進センター
にて、献血実施！

〈市民協働推進センター〉



ACCESS

横浜市中区本町6-50-10 横浜市役所1Fアトリウム

●みなとみらい線「馬車道駅」下車、1C出口直結

●JR「桜木町駅」新南口（市役所口）から徒歩3分

●市営地下鉄「桜木町駅」「1口」から徒歩3分

ブース	出展内容	健康課題	出展団体名
G	骨密度測定／体組成測定	2,8	横浜市立大学公衆衛生学教室／神奈川県栄養士会
H	乳がん予防啓発展示	3	ピンクリボンかながわ
I	歯科に関するパネル展示	6	横浜市歯科医師会
J	ヒートショック展示	9	横浜市住宅供給公社
K/L	健康クイズラリー 「わたしの健康謎解き」	-	横浜市立大学学生

アトリウムがゴールのクイズラリー企画

【パネルディスカッション登壇者】

TALK 01	伊藤呼春さん	横浜市立大学国際商学部国際商学科3年／若者のメンタルヘルスとSNSの調査を実施
	伊谷野友里愛さん	横浜市立大学医学部医学科4年／小児がん等の子ども達に「幸福のウィッグ」を届ける団体 Hair for Children 代表
	手島朝香さん	横浜市立大学データサイエンス研究科ヘルスデータサイエンス専攻1年／公衆衛生学の研究に従事
	菱田真衣花さん	横浜市立大学医学部医学科4年／ヘルスケアインベーターの出発点を創造する一社 ZEROGATE を運営／本イベント代表
TALK 02	宮城悦子氏	横浜市立大学副学長／横浜市立大学産婦人科学教室主任教授
	重見大介氏	(株) Kids Public 産婦人科オンライン代表／産婦人科専門医／公衆衛生学修士／医学博士
	平野翔大氏	(株) 明治 統括産業医／産婦人科医／医療ジャーナリスト
TALK 03	水谷隆史氏	医療法人社団南永田診療所 院長／一社 横浜市医師会 常任理事／健康横浜21 推進会議会長
	井上祥氏	(株) メディカルノート代表取締役・共同創業者／医師・医学博士／大阪大学招へい准教授
	西井正造氏	横浜市立大学 先端医科学研究センター コミュニケーション・デザイン・センター助教
	後藤温氏	横浜市立大学 公衆衛生学教室教授

横浜市食育推進計画（第3期）指標⑯ 目標値の設定について

横浜市食育推進計画（第3期）における、新規の項目「自然に健康になれる食環境づくり」の指標⑯について、目標値を設定します。

1 直近値（ベースライン値）の設定について

「ハマの元気ごはん提供店登録制度」を開始した令和6年10月1日時点の登録店舗数 64店舗をベースライン値とします。（スーパー・マーケット 62店舗、飲食店 2店舗）

2 目標値の設定について

目標	指標	直近値	目標値
目標 8 健康への関心の有無にかかわらず、誰もが栄養バランスのよい食事を選択できる食環境を整える	⑯栄養バランスのよい食事を選択できる環境づくりに資する取組を行っている店舗数	64店舗 (R6(2024)年度)	145店舗以上 (R14(2032)年度)

【目標値算出根拠】

ハマの元気ごはん提供店登録制度開始時点の登録数とスーパーの市内店舗数を踏まえて、登録店舗数を年間10店舗ずつ増加させることを目標とする。

$$64 \text{店舗} \text{ (ベースライン値)} + (10 \text{店舗} \times 8 \text{年}) = 144 \text{ (約 145店舗)}$$

(参考)

- 市内大・中規模スーパー店舗（250店舗）の半数 = 125店舗
 $(125-62) \div 8 = 7.87$
- よこはま健康応援団のバランスメニュー登録店舗（48店舗）の半数 = 24店舗
 $(24-2) \div 8 = 2.75$

※第3期健康横浜21の目標値の設定方法を踏まえ、策定時値から相対的に5%以上の改善を見込むという条件を満たしています。

$$\text{相対的に 5\% 改善した値 } 64 \times 1.05 = 67.2$$

横浜市食育推進計画（第3期）の目標に関する取組

推進テーマ	市の目標	対象世代	【行政】令和6年度取組計画	【団体】令和6年度取組計画
1 朝食を欠食する市民を減らす	育ち・学び		<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児健診で待ち時間に、食生活・栄養について映像を活用した集団講座を実施 ○給食時間に「ぱくぱくだより」を読んだり掲示したりして、朝食摂取の大切さを伝える。（通年） ○中学校給食の「ぱくぱくだより」の掲示及び放送（通年） ○各教科等における指導 ○市学力・学習状況調査、食事に関する調査の実施 ○食育実践推進校の取組 ・乳幼児健診時に規則正しい食生活やバランスのよい食事の普及啓発を実施 ・小中学校と連携した体験型食育講座の実施（児童・生徒のほか、保護者、教職員も対象） ・「食育ネットワーク田奈中ブロック」について区ホームページ掲載、食育月間にパネル展示 ・食育の日（年3回）を3歳児健診と合わせて実施し、食育絵本を配布 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市泉区の一般社団法人かけはしにて、月1回【作って食べよう】という食育講座を開催（5月から活動中） ・口腔疾患の予防と口腔機能育成に関する研修会の実施 ・保育所等職員に対して乳幼児保健研修会の実施 ・各区で口腔機能発達不全症についてのセミナーなどの実施 ・小学校、中学校でのスポーツを通した食育活動で「朝食の大切さ」や「栄養バランスのよい食事」等をテーマにプリントや実技を交えてにを実施 中学校・高校の部活動の生徒や高校生の居場所作りカフェ、中学校夜間学級での食育講座などにおいて、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。また、子ども食堂などの地域に根ざした活動へのサポートにも力を入れる。
		働き・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・両親教室を通して家族の食生活の大切さについて啓発 ・赤ちゃん教室にて、食生活・栄養の講座を実施 ○保護者向けの給食だよりを配付（通年） ・給食だより（保護者向け配布献立）で、朝食を食べることやその効果、朝食メニューのアドバイス ・両親教室、離乳食教室を通して家族の食生活の大切さについて啓発 ・乳幼児食生活相談 	<ul style="list-style-type: none"> 横浜市泉区の一般社団法人かけはしにて、月1回【作って食べよう】という食育講座を開催（5月から活動中） ・口腔疾患の予防と口腔機能育成に関する研修会の実施 ・保育所等職員に対して乳幼児保健研修会の実施 ・各区で口腔機能発達不全症についてのセミナーなどの実施
		実り	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防講演会においてベジチェックを実施 	
	全世代		<ul style="list-style-type: none"> ・毎月1回「思いやり、健康づくりの日」として、区民が積極的に健康づくりに取り組むための健康チェックの機会を提供（保健活動推進員、食生活等改善推進員等と協働） ・地域の学校や子育て支援拠点においてSATシステムやベジチェックを活用した食事チェック 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月～7月にかけて歯と口の健康週間行事」をHP開催 「お弁当コンクール（嗜みごたえのある食材を用いて）」を実施 ・7月に旭区「ズーラシア」にて動物・ヒトについての「歯」の役割等についてのセミナー実施 食の大切さや楽しさを伝える活動。 横浜ガストロノミ協議会としての健康レシピ開発。 活動を通じて、「1日3食、栄養バランスよく食べる」「野菜たっぷり食べる（1日350g）」「口から食べる」等について伝える
		育ち・学び	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診で待ち時間に、食生活・栄養について映像を活用した集団講座を実施 ・赤ちゃん教室にて食事・栄養バランスのよい食事の普及啓発を実施 ・横浜子育てガイドブック「どれどれ」での周知（妊娠期の食生活、ママと子どもの食生活、一日のたべものめやす） ○給食時間に「ぱくぱくだより」を読んだり掲示したりして、朝食摂取の大切さを伝える。（通年） ○中学校給食の「ぱくぱくだより」の掲示及び放送（通年） ○各教科等における指導 ○食育推進プロジェクトによる取組 ・乳幼児健診時に規則正しい食生活やバランスのよい食事の普及啓発を実施 ・小中学校と連携した体験型食育講座の実施（児童・生徒のほか、保護者、教職員も対象） ・「食育ネットワーク田奈中ブロック」について区ホームページ掲載、食育月間にパネル展示 ・食育の日（年3回）を3歳児健診と合わせて実施し、食育絵本を配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔疾患の予防と口腔機能育成に関する研修会の実施 ・保育所等職員に対して乳幼児保健研修会の実施 ・各区で口腔機能発達不全症についてのセミナーなどの実施 【親子料理教室】 ・7月、10月、11月に給食の人気メニュー（チリコンカーン、ベイスターズ青星寮カレーなど）作りを実施する。 ・8月に給食のパン業者を講師にパン作りを実施 ・2月に給食物資取扱業者を講師に魚をさばき、調理する料理教室を実施する。 【財団ホームページ】 給食献立のレシピを公開し、家庭で作った給食の料理を投稿するコーナーを継続する。 ・小学校、中学校でのスポーツを通した食育活動で「朝食の大切さ」や「栄養バランスのよい食事」等をテーマにプリントや実技を交えてにを実施 中学校・高校の部活動の生徒や高校生の居場所作りカフェ、中学校夜間学級での食育講座などにおいて、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。また、子ども食堂などの地域に根ざした活動へのサポートにも力を入れる。 ・口腔疾患の予防と口腔機能育成に関する研修会の実施 ・保育所等職員に対して乳幼児保健研修会の実施 ・各区で口腔機能発達不全症についてのセミナーなどの実施
	2 栄養バランスに配慮した食生活を実践する市民を増やす	働き・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・両親教室を通して家族の食生活の大切さについて啓発 ・公立保育所にて給食のおたよりを通じて栄養バランスのよい食事の普及啓発を実施 ○保護者向けの給食試食会の実施 ・給食だより（保護者向け配布献立）で、おやつや清涼飲料水の取り方、夏バテや風邪防止の食事等を紹介 ・両親教室、離乳食教室を通して家族の食生活の大切さについて啓発 ・乳幼児食生活相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病検診や前期・後期高齢者における歯科健診の実施。また横浜市各地区で歯周病や生活習慣病についてのセミナーを開催 【親子料理教室】 ・7月、10月、11月に給食の人気メニュー（チリコンカーン、ベイスターズ青星寮カレーなど）作りを実施する。 ・8月に給食のパン業者を講師にパン作りを実施 ・2月に給食物資取扱業者を講師に魚をさばき、調理する料理教室を実施する。 【財団ホームページ】 給食献立のレシピを公開し、家庭で作った給食の料理を投稿するコーナーを継続する。
		実り	<ul style="list-style-type: none"> ・フレイル予防講演会においてベジチェックを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病検診や前期・後期高齢者における歯科健診の実施。また横浜市各地区で歯周病や生活習慣病についてのセミナーを開催

横浜市食育推進計画（第3期）の目標に関する取組

推進テーマ	市の目標	対象世代	【行政】令和6年度取組計画	【団体】令和6年度取組計画
3 生活習慣病の 予防や改善の ために、ふだんから適正体重の維持を実践する市民を増やす	全世代	全世代	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活等改善推進員による啓発活動 ・野菜摂取の促進の啓発を「これたてみどり直売所」の販売日にあわせ実施（パネル展示、ペジチェック等） ・P T A・地域子育て支援拠点等の成人向け講座（地域団体等に講座を実施） ・地域の学校や子育て支援拠点においてSATシステムやペジチェックを活用した食事チェック ・「野菜をもっと食べようキャンペーン」を区ヘルスマイトに委託し、区政推進課と共に野菜直売の促進 ・市からの委託事業としてヘルスマイトが、食生活改善講座を実施 ・「食事バランス」の大切さについて広報よこはま6月号にて周知 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月～7月にかけて歯と口の健康週間行事」をHP開催 「お弁当コンクール（噛みごたえのある食材を用いて）」を実施 ・7月に旭区「ズーラシア」にて動物・ヒトについての「歯」の役割等についてのセミナー実施 <p>横浜中央市場と協力して料理教室やメニュー開発を行う。未使用魚のメニュー開発なども行いフードロスを考える。 横浜市民の為の料理教室 横浜ガストロノミ協議会としての健康レシピ開発。 活動を通じて、「1日3食、栄養バランスよく食べる」「野菜たっぷり食べる（1日350g）」「口から食べる」等について伝える</p>
	育ち・学び	働き・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・両親教室にて運動・適正体重についての講座を実施 <p>○各教科等における指導</p>	<p>中学校・高校の部活動の生徒や高校生の居場所作りカフェ、中学校夜間学級での食育講座などにおいて、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。また、子ども食堂などの地域に根ざした活動へのサポートにも力を入れる。</p>
		実り	<ul style="list-style-type: none"> ・妊娠高血圧や妊娠糖尿病の既往のある産婦への生活習慣等への助言（新生児訪問時、4か月児健診時） ・「食と生活の健康相談（生活習慣改善相談）」月2回実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・（公財）かながわ健康財団主催の「健康チャレンジフェアかながわ」に参加 測定等体験型ブース展示 ・歯周病検診や前期・後期高齢者における歯科健診の実施。また横浜市各地区で歯周病や生活習慣病についてのセミナーを開催
		全世代	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活等改善推進員による啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・歯周病検診や前期・後期高齢者における歯科健診の実施。また横浜市各地区で歯周病や生活習慣病についてのセミナーを開催
				<p>横浜ガストロノミ協議会としての健康レシピ開発。 活動を通じて、「適正体重を維持」について伝える</p>
	4 朝食又は夕食を家族等と一緒に食べる「共食」の回数を増やす	育ち・学び	<ul style="list-style-type: none"> ・園児保護者に向け食事の楽しさ・大切さの情報を入ったお便りを発信 ・地域子育て支援拠点のひろばにおいてランチタイムの実施 	<p>横浜市泉区の一般社団法人かけはしにて、 月1回【作って食べよう】という食育講座を開催 (5月から活動中)</p> <p>中学校・高校の部活動の生徒や高校生の居場所作りカフェ、中学校夜間学級での食育講座などにおいて、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。また、子ども食堂などの地域に根ざした活動へのサポートにも力を入れる。</p>
		働き・子育て		<p>横浜市泉区の一般社団法人かけはしにて、 月1回【作って食べよう】という食育講座を開催 (5月から活動中)</p>
		実り		
		全世代	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所の個別相談や教室等の機会をとらえ、家族等と一緒に食事をする機会を通じて、食事の楽しさや大切さを感じられる取組を実施。 	<p>食の大切さや楽しさを伝える活動。 横浜ガストロノミ協議会としての健康レシピ開発。 活動を通じて、家族と食事をすることは、楽しいことを伝える。</p>
2 何でもおいしく楽しく食べよう	育ち・学び	働き・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん教室、乳幼児健診での啓発 ・歯科リーフレットを区づくり推進費で作成・配布し、虫歯になりにくい食生活、よく噛むことの大切さ、ブラッシングのポイントを啓発 <p>○給食時間に「ぱくぱくだより」を読んだり掲示したりして、朝食摂取の大切さを伝える。（通年） ○中学校給食の「ぱくぱくだより」の掲示及び放送（通年） ○各教科等における指導 ○義護教諭や学校医による保健指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児健診時に規則正しい食生活やバランスのよい食事の普及啓発を実施 ・両親教室、育児教室、乳幼児健診での啓発 ・区づくり事業（歯びか教室、離乳食教室）での歯科講話 ・子育てサロンへの啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔疾患の予防と口腔機能育成に関する研修会の実施 ・保育所等職員に対して乳幼児保健研修会の実施 ・各区で口腔機能発達不全症についてのセミナーなどの実施 <p>・保育園健診等の歯科保健指導時に「噛むことの大切さ」を指導 ・各地区で「口腔機能低下症」のセミナーで「噛むことの重要性」「口腔機能低下予防」の周知</p>
	5 よく噛んで食べることができる市民を増やす	働き・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・母子健康手帳交付時に「これからママになる方へ 妊婦歯科検診を受けましょう！」リーフレットのお渡しと「横浜市妊婦歯科健康診査受診券」のお渡し（母子健康手帳別冊健診券綴内） <p>○保健だよりの配付 ・給食だより（保護者向け配布献立）で、誤嚥、誤飲防止の注意喚起 ・子の保護者への歯周病予防啓発 ・イベント参加者への啓発（食育月間、歯と口の健康週間、健康づくり月間など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔疾患の予防と口腔機能育成に関する研修会の実施 ・保育所等職員に対して乳幼児保健研修会の実施 ・各区で口腔機能発達不全症についてのセミナーなどの実施 <p>・歯周病検診や前期・後期高齢者における歯科健診の実施。また横浜市各地区で歯周病や生活習慣病についてのセミナーを開催</p>
		実り	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやり健康づくりの日、歯と口の健康週間、食育イベント、フレイル予防講座において、オーラルフレイル予防の普及啓発 ・市委託事業において、区ヘルスマイトによる、フレイル予防講話 	<p>・歯周病検診や前期・後期高齢者における歯科健診の実施。また横浜市各地区で歯周病や生活習慣病についてのセミナーを開催</p> <p>・保育園健診等の歯科保健指導時に「噛むことの大切さ」を指導 ・各地区で「口腔機能低下症」のセミナーで「噛むことの重要性」「口腔機能低下予防」の周知</p>

横浜市食育推進計画（第3期）の目標に関する取組

推進テーマ	市の目標	対象世代	【行政】令和6年度取組計画	【団体】令和6年度取組計画
		全世代	<ul style="list-style-type: none"> ・思いやり健康づくりの日、歯と口の健康週間、食育月間、食育の日イベント、フレイル予防講座等において、「おいしく楽しく食べること」、「お口の健康」に関する啓発 	<ul style="list-style-type: none"> ・横浜市歯科医師会主催 歯と口の健康週間イベント後援 会員に周知 ・6月～7月にかけて歯と口の健康週間行事」をHP開催 「お弁当コンクール（噛みごたえのある食材を用いて）」を実施 ・7月に旭区「ズーラシア」にて動物・ヒトについての「歯」の役割等についてのセミナー実施 <p>活動を通じて、「1日3食、栄養バランスよく食べる」「野菜たっぷり食べる（1日350g）」「口から食べる」等について伝える</p>
3 自然に 健 康 に な れ る 食 環 境	6 食育に 関心を 持つ いる市 民を 増やす	育ち・学び	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所園児に給食に出る料理や食材に関するお話しを実施 ・園児保護者に向け、食育・食事に関する情報・お便りを発信 ・地域子育て支援拠点の菜園を利用した食育の実践 ・小学校に多彩な魚介類や青果を持参し、水産・青果の出前授業を実施。市場のプロから生鮮食料品の正しい知識や流通の仕組みを学ぶとともに実際に児童が触れる機会を提供（4校） ・水産の出前授業をもとに、児童が考えたことアウトプットする授業を新たに実施（2校） ・小学生が市場のもつ役割などを学ぶ機会として市場見学を実施（2校） <p>○給食時間や各教科等における学校栄養職員や栄養教諭による指導 ○中学校給食メニューコンクールの実施 ○食育実践推進校、食育推進プロジェクトによる取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ぱくぱくだより（園児向け献立）」を用いて、園児に給食に出る料理や食材に関するお話しをクイズ形式などを交えて提供 	<p>2005年に「つづき博士俱楽部」に登録し都筑区内の小学校にて「シウマイから学ぶ食べ物のかがく」の食育講座を提供。また市内中学校で12年間にわたり職業講座と製造体験を実施</p> <p>横浜市泉区の一般社団法人かけはしにて、月1回【作って食べよう】という食育講座を開催（5月から活動中）</p> <p>中学校・高校の部活動の生徒や高校生の居場所作りカフェ、中学校夜間学級での食育講座などにおいて、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。また、子ども食堂などの地域に根ざした活動へのサポートにも力を入れる。</p> <p>市場隣接地にて、市場直送の食材を活用した飲食物を販売するイベントを開催。新鮮な市場食材を味わうことで食への興味関心を育む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校、中学校でのスポーツを通した食育活動で「朝食の大切さ」や「栄養バランスのよい食事」等をテーマにプリントや実技を交えて実施 ・口腔疾患の予防と口腔機能育成に関する研修会の実施 ・保育所等職員に対して乳幼児保健研修会の実施 ・各区で口腔機能発達不全症についてのセミナーなどの実施 ・保育園健診等の歯科保健指導時に「噛むことの大切さ」を指導 ・各地区で「口腔機能低下症」のセミナーで「噛むことの重要性」「口腔機能低下予防」の周知 <p>稲作栽培支援事業を申請した市内小学校に対し、事業を実施していく。</p>
		働き・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・給食だより（保護者向け配布献立）で、食事に関する情報を発信 ・ウェブサイトを用いて、保育・教育施設の食事を紹介 ・食生活等改善推進員の養成および食生活等改善推進員の活動支援 	<p>横浜市泉区の一般社団法人かけはしにて、月1回【作って食べよう】という食育講座を開催（5月から活動中）</p> <p>市場隣接地にて、市場直送の食材を活用した飲食物を販売するイベントを開催。新鮮な市場食材を味わうことで食への興味関心を育む。</p> <p>旬の野菜を使った簡単な家庭料理の料理教室。旬の野菜についての豆知識を得たり、野菜を無駄なく使い切れる簡単なレシピを学んだりする講座。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・口腔疾患の予防と口腔機能育成に関する研修会の実施 ・保育所等職員に対して乳幼児保健研修会の実施 ・各区で口腔機能発達不全症についてのセミナーなどの実施 <p>【試食会支援プロジェクト】</p> <p>学校の要請に基づき職員を派遣する。</p>
	実り		<ul style="list-style-type: none"> ・食生活等改善推進員の養成および食生活等改善推進員の活動支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園健診等の歯科保健指導時に「噛むことの大切さ」を指導 ・各地区で「口腔機能低下症」のセミナーで「噛むことの重要性」「口腔機能低下予防」の周知
		全世代	<ul style="list-style-type: none"> ・広報よこはま6月号にて「食事バランス」の周知 ・「野菜をたべよう！」横断幕作成 ・食育月間 パネル展、イベント開催 	<p>食の大切さや楽しさを伝える活動。</p> <p>横浜中央市場と協力して料理教室やメニュー開発を行う。未使用魚のメニュー開発なども行いフードロスを考える。</p> <p>横浜市民の為の料理教室</p> <p>地元野菜や地元の魚介類の使用。横浜ガストロノミ協議会としてのフードロス削減の取り組み。</p> <p>横浜ガストロノミ協議会としての健康レシピ開発。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「市民活動フェア」に出演 ・様々な世代に向けた食育活動について紹介 ・会場での栄養相談 レシピ配布 ・「子どもができる簡単料理レシピ集」を使った料理教室を開催 ・6月～7月にかけて歯と口の健康週間行事」をHP開催 「お弁当コンクール（噛みごたえのある食材を用いて）」を実施 ・7月に旭区「ズーラシア」にて動物・ヒトについての「歯」の役割等についてのセミナー実施 ・活動を通じて、食育について啓発を行う

横浜市食育推進計画（第3期）の目標に関する取組

推進テーマ	市の目標	対象世代	【行政】令和6年度取組計画	【団体】令和6年度取組計画
づくり 7 食育の推進に 関わるボラン ティアの数を 増やす	7 食育の推進に 関わるボラン ティアの数を 増やす	育ち・学び	○エプロン先生を活用した給食の配膳	横浜市泉区の一般社団法人かけはしにて、月1回【作って食べよう】という食育講座を開催（5月から活動中）
		働き・ 子育て	・食生活等改善推進員の養成および食生活等改善推進員の活動支援	横浜市泉区の一般社団法人かけはしにて、月1回【作って食べよう】という食育講座を開催（5月から活動中） ・「私たちの健康は私たちの手で」というヘルスマイトの考えを啓発活動等を通して市民に伝え、仲間を増やす礎にする
		実り	・食生活等改善推進員の養成および食生活等改善推進員の活動支援	・「私たちの健康は私たちの手で」というヘルスマイトの考えを啓発活動等を通して市民に伝え、仲間を増やす礎にする
		全世代	"<市民や企業と連携した地産地消の展開事業> ●地産地消を広げる人材の育成 ・はまふうどコンシェルジュの育成やその活動支援等"	日々の活動をアピールすることで共感者を増やす。誰でも参加できるように、ボランティア内容は多岐にわたることを明示する。どんなことでも、「食」が心を豊かにすることを伝えるために、多様な場所・人々と交流を持つ。 横浜ガストロノミ協議会を通してボランティアを呼びかける。
8 誰もが栄養バ ランスの良い 食事を食べる ことができる 食環境を整え る	8 誰もが栄養バ ランスの良い 食事を食べる ことができる 食環境を整え る	育ち・学び	・保育所給食を通じて園児がバランスの良い食事を体験する	中学校給食のアドバイスやメニュー開発又コラボレーションを行う。 ・小学校、中学校での食育教室の際に、「食品ロス」を分かりやすいようにプリントを配布（資源循環局とのコラボプリント） ・保育園健診等の歯科保健指導時に「噛むことの大切さ」を指導 ・各地区で「口腔機能低下症」のセミナーで「噛むことの重要性」「口腔機能低下予防」の周知
		働き・ 子育て	○小中学校給食の献立表において栄養成分表示の活用方法を周知啓発 ・給食だより（保護者向け配布献立）に栄養成分と食材を表示することにより周知啓発を行う ・企業に対して、社員食堂などの献立について相談支援 ・栄養成分表示を活用する契機となる動画の作成及び掲出 ・ハマの元気ごはん提供店登録制度の創設	横浜市の飲食店では食品衛生責任者を設置しており、責任者の方は年に一度最新の食品衛生の知識取得や食中毒予防の講習会を横浜市食品衛生協会で開催し食中毒予防の啓発を行います。
		実り	・ハマの元気ごはん提供店登録制度の創設	横浜市の飲食店では食品衛生責任者を設置しており、責任者の方は年に一度最新の食品衛生の知識取得や食中毒予防の講習会を横浜市食品衛生協会で開催し食中毒予防の啓発を行います。 ・保育園健診等の歯科保健指導時に「噛むことの大切さ」を指導 ・各地区で「口腔機能低下症」のセミナーで「噛むことの重要性」「口腔機能低下予防」の周知
		全世代	・給食施設栄養管理研修会、給食施設巡回指導を通して、給食利用者の食環境を整える ・栄養成分表示の活用方法に関する市民向けチラシの配布 ・市Webページにおいて市民向けに栄養成分表示の活用方法を周知啓発	食の大切さや楽しさを伝える活動。 横浜中央市場と協力して料理教室やメニュー開発を行う。未使用魚のメニュー開発なども行いフードロスを考える。 横浜市民の為の料理教室 横浜ガストロノミ協議会としての健康レシピ開発。 人それぞれ環境が違うことを知ることで、出来ることや行えることは違ってくる。その場に応じた最善の知識と、適切な行動ができるような理解者・企業そして場所を確保するように進めていく。あらゆる年齢に対応できるような、データ資料作りをすすめ流とともに、できる人を育てる。
4 地 産 地 消 等 の	9 学校給食にお ける地場産物 を活用した取 組等を増やす	育ち・学び	・地産地消の取り組みとして、中学校給食と連携し、市場のプロが厳選した県内産の野菜や魚を使用したメニューを提供 ・小学校の独自給食として県内産魚介類を使用したメニューの提供 <市民や企業と連携した地産地消の展開事業> ●市民や企業等と連携した地産地消の推進 ・学校給食での市内産農産物の一斉供給や料理コンクールの開催等 ○「ばくばくだより」 ○中学校給食メニューコンクール ○企業等を活用した出前授業実施	中学校給食のアドバイスやメニュー開発又コラボレーションを行う。 市場隣接地にて、市場直送の食材を活用した飲食物を販売するイベントを開催。新鮮な市場食材を味わうことで食への興味関心を育む。 地産地消月間である11月に「学校給食食材一斉供給」 を実施。令和6年度の食材は「キャベツ」。実施日は7・12・19・21日の4日間。 【市内産野菜の一斉供給】 11月に4ブロックに分けて市内産キャベツ供給する。令和6年度はタンタンスープの献立に使用する。
		働き・ 子育て		市場隣接地にて、市場直送の食材を活用した飲食物を販売するイベントを開催。新鮮な市場食材を味わうことで食への興味関心を育む。
		実り		
		全世代		食の大切さや楽しさを伝える活動。 横浜の小学生への食育や味覚の授業。
10 農林漁業体験 を経験した市 民を増やす	10 農林漁業体験 を経験した市 民を増やす	育ち・学び	・市立保育所の園庭等で野菜の栽培、収穫体験を実施 ・地域子育て支援拠点の菜園での水やりや収穫体験の実施 ○各教科等における指導 ○企業等を活用した出前授業の実施	食農体験として、実践を横浜総合高校に加え、戸塚高校定時制などに進めたことに加え、身時から取り組みたいと思える様な仕掛け・仕組みをつくり、農業体験などを経験することが、キャリア支援につながるように伝える。
		働き・ 子育て		
		実り		
		全世代	<農とふれあう場づくり事業> ●収穫体験農園・市民農園の開設支援 ・収穫から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設支援等	食の大切さや楽しさを伝える活動。 横浜中央市場と協力して料理教室やメニュー開発を行う。未使用魚のメニュー開発なども行いフードロスを考える。 横浜市民の為の料理教室 地元野菜や地元の魚介類の使用。横浜ガストロノミ協議会としてのフードロス削減の取り組み。

横浜市食育推進計画（第3期）の目標に関する取組

推進テーマ	市の目標	対象世代	【行政】令和6年度取組計画	【団体】令和6年度取組計画
推進	11 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ市民を増やす	育ち・学び	・市場が行うイベント等で漁業に関する体験や知る機会の提供、青果の生産者と直接触れる機会の提供	中学校給食のアドバイスやメニュー開発又コラボレーションを行う。 市場隣接地にて、市場直送の食材を活用した飲食物を販売するイベントを開催。新鮮な市場食材を味わうことで食への興味関心を育む。 10の取り組みを進める中で、自ら食材・食品を知り、知ろうとする学ぶ姿勢を育て、自らの健康や他者への思いやりにつながる大人になることを知ってもらい、
		働き・子育て	・毎月、給食だより（保護者向け配布献立）で横浜地場産野菜や野菜の栄養素を紹介	・横浜中央卸売市場発行 栄養士会監修の「とりわけ離乳食レシピブック」を使う離乳食教室の開催 横浜市内の子育て拠点、子育てサロン、子育て広場にて開催する 市場隣接地にて、市場直送の食材を活用した飲食物を販売するイベントを開催。新鮮な市場食材を味わうことで食への興味関心を育む。 旬の野菜を使った簡単な家庭料理の料理教室。旬の野菜についての豆知識を得たり、野菜を無駄なく使い切れる簡単なレシピを学んだりする講座。
		実り		
		全世代	・食育月間、野菜キャンペーンにおいて、「地産地消の冊子」を配布 <身近に農を感じる地産地消の推進事業> ●直売所・青空市等の支援 ・直売所の開設や青空市の運営支援等 ●情報発信・PR活動 ・情報誌の発行やInstagram等のSNSを用いた地産地消に関する情報発信等	食の大切さや楽しさを伝える活動。 ハマッ子直売所にて地元の農畜産物を販売。また、毎週木曜、市庁舎にて横浜野菜の直売を開催していく。他にも、クッキング動画を配信することで地産地消のPRにつとめていく。 横浜中央市場と協力して料理教室やメニュー開発を行う。未使用魚のメニュー開発なども行いフードロスを考える。 横浜市民の為の料理教室 地元野菜や地元の魚介類の使用。横浜ガストロノミ協議会としてのフードロス削減の取り組み。 レストランにおいて産地の書かれたメニューを提供。 市内でとれた小松菜を使用他。
5 日本の食文化の継承	12 地域や家庭で受け継がれてきた伝統的な料理や作法等を継承し、伝えている市民を増やす	育ち・学び	・保育所で季節や行事食を体験する給食内容を実施 ○「ぱくぱくだより」 ○各教科等における指導	中学校給食のアドバイスやメニュー開発又コラボレーションを行う。
		働き・子育て	○給食の献立表を活用した紹介 ・給食だより（保護者向け配布献立）で伝統料理や食事のマナーを紹介	日々の生活中での当たり前のことが「食」とつながり、さまざまなつながりを形成していることを、講座や講演・コラムなどをさらに、拡充する。 【財団ホームページ】 年中行事と食事に関する食育記事を継続して掲載する。
		実り		日々の生活中での当たり前のことが「食」とつながり、さまざまなつながりを形成していることを、講座や講演・コラムなどをさらに、拡充する。 「クッキングサロンハマッ子」を活用し、はまふうどコンシェルジュや料理研究家等による市内産農畜産物を使用した料理教室を定期的に開催し、地産地消の普及を進めていく。
		全世代	・企業や団体等と連携した食育情報の発信や食に関するイベント等の実施を通じた啓発	横浜市民の為の料理教室 横浜の小学生への食育や味覚の授業。 横浜ガストロノミ協議会としての健康レシピ開発。 関連団体として横浜市への事業協力 ・「フレイル予防」 ・公衆衛生をテーマとしたイベント
6 食の安全と環境に	13 食品の安全性について基礎的な知識を持ち、自ら判断する市民を増やす	育ち・学び	・乳幼児健診で食中毒予防のチラシを配布し啓発 ・赤ちゃん教室で食品等での窒息事故予防の啓発を実施 ・保育所で食中毒予防の啓発を実施 ○各教科等による指導 ・小中学校の体験型食育講座において食品表示の見方について講話を実施	中学校・高校の部活動の生徒や高校生の居場所作りカフェ、中学校夜間学級での食育講座などにおいて、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。また、子ども食堂などの地域に根ざした活動へのサポートにも力を入れる。
		働き・子育て	○保健だよりによる情報発信 ・給食だより（保護者向け配布献立）で、食中毒やノロウイルス予防について注意喚起 ・両親教室、食生活改善セミナーなど機会があるたびに、食品表示についての見方についての啓発 ・乳幼児健康診査と連携した食中毒予防についての相談支援 ・小学校給食の献立表において、食中毒やノロウイルス予防について注意喚起	横浜市の飲食店では食品衛生責任者を設置しており、責任者の方は年に一度最新の食品衛生の知識取得や食中毒予防の講習会を横浜市食品衛生協会で開催し食中毒予防の啓発を行います。
		実り		横浜市の飲食店では食品衛生責任者を設置しており、責任者の方は年に一度最新の食品衛生の知識取得や食中毒予防の講習会を横浜市食品衛生協会で開催し食中毒予防の啓発を行います。
		全世代	・イベントやパネル展などにて、食品表示の見方についてリーフレットを配架 ・食の安全に関する市民イベントの開催、区民祭り等の催事における啓発 ・リスクコミュニケーションの実施 ・食中毒予防等についての相談支援 ・食品衛生講習会の実施 ・動画等を活用したウェブサイトやSNS等時流に沿った方法での情報提供	食の大切さや楽しさを伝える活動。 横浜市民の為の料理教室 横浜ガストロノミ協議会としての健康レシピ開発。 西区、都筑区、戸塚区の食品衛生協会に所属し、区民祭りや 横浜市食品衛生協会の行事を通じ、食中毒予防の啓蒙活動、 を毎年行っている

横浜市食育推進計画（第3期）の目標に関する取組

推進テーマ	市の目標	対象世代	【行政】令和6年度取組計画	【団体】令和6年度取組計画
配慮した食育の推進	14 日頃から災害に備え、食料品等の備蓄に努める市民を増やす	育ち・学び	・小中学校の体験型食育講座において講話とともに「食の備蓄リーフレット」を配布	中学校・高校の部活動の生徒や高校生の居場所作りカフェ、中学校夜間学級での食育講座などにおいて、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。また、子ども食堂などの地域に根ざした活動へのサポートにも力を入れる。
		働き・子育て	・4か月健診、離乳食教室において、総務課提供の備蓄参考用にベビーフード、液体ミルクのサンプル及び「食の備蓄リーフレット」を配布	横浜ガストロノミ協議会を通してボランティアを呼びかける。
		実り		・かながわビッグレスキューへの展示 ・横浜市防災計画関連機関として食を通じた災害支援に協力 ・地域での防災イベントに参加 災害備蓄食品、パッククッキングの紹介
		全世代	・赤ちゃん教室で食料、ミルク、オムツ等の備蓄について災害時ハンドブックを配布、啓発 ・ローリングストックを中心とした、健康維持できる食料備蓄に関するリーフレットの作成。ホームページへの掲載。 ・「食の備蓄リーフレット」を各種教室、区民まつりなどにおいて配布 ・ヘルスマイトへの市委託事業において、災害時の食の備蓄について講座やイベントにて周知	・災害時における炊き出しとしての製品（弁当類）の継続的提供や、「ローリングストック法」の認知拡大のため、継続的にカタログ ・自社サイトにて、ローリングストック法を紹介。 ローリングストックを応用した簡単な家庭料理の料理教室。ローリングストックという方法や、それを使った簡単な料理を学ぶ講座
		育ち・学び	○各教科等による指導	中学校・高校の部活動の生徒や高校生の居場所作りカフェ、中学校夜間学級での食育講座などにおいて、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。また、子ども食堂などの地域に根ざした活動へのサポートにも力を入れる。 【食材塾】 8月に牛乳業者、2月に青果業者を講師に迎え、食品の知識や流通等の知識や理解を深めることを目的とした研修会を開催する。
	15 環境に配慮した農林水産物・食品を選ぶ市民を増やす	働き・子育て		横浜市の飲食店では食品衛生責任者を設置しており、責任者の方は年に一度最新の食品衛生の知識取得や食中毒予防の講習会を横浜市食品衛生協会で開催し食中毒予防の啓発を行います。 【食材塾】 8月に牛乳業者、2月に青果業者を講師に迎え、食品の知識や流通等の知識や理解を深めることを目的とした研修会を開催する。
		実り		横浜市の飲食店では食品衛生責任者を設置しており、責任者の方は年に一度最新の食品衛生の知識取得や食中毒予防の講習会を横浜市食品衛生協会で開催し食中毒予防の啓発を行います。
		全世代		食の大切さや楽しさを伝える活動。 横浜中央市場と協力して料理教室やメニュー開発を行う。未使用魚のメニュー開発なども行いフードロスを考える。 横浜市民の為の料理教室 地元野菜や地元の魚介類の使用。横浜ガストロノミ協議会としてのフードロス削減の取り組み。 横浜の小学生への食育や味覚の授業。
		育ち・学び	○各教科等による指導 ・保育園・幼稚園・小学校等において実施する出前教室において、食の大切さを伝え、食品ロス問題への意識を高めていく	中学校給食のアドバイスやメニュー開発又コラボレーションを行う。 中学校・高校の部活動の生徒や高校生の居場所作りカフェ、中学校夜間学級での食育講座などにおいて、朝食や栄養バランスを含めた食育啓発を行う。また、子ども食堂などの地域に根ざした活動へのサポートにも力を入れる。 ・小学校、中学校でのスポーツを通した食育活動で「朝食の大切さ」や「栄養バランスのよい食事」等をテーマにプリントや実技を交えて実施 ・小学校、中学校での食育教室の際に、「食品ロス」を分かりやすいようにプリントを配布（資源循環局とのコラボプリント）
		働き・子育て		
		実り		7月にフードバンクかながわへ募金寄付をおこなう。 併せて7,8月（計2回）にフードバンク研修や仕分けボランティア体験などを実施する。
	16 食品ロス削減のために何らかの行動をしている市民を増やす	全世代	・ヘルスマイトによる食品ロスについての啓発 ・区民まつり等のイベントや啓発キャンペーン等の機会を捉え、食品ロスの現状や削減につながる実践行動についてお伝えする SNSや広報誌を活用し、食品ロス削減に関する情報を幅広く発信する	食の大切さや楽しさを伝える活動。 横浜中央市場と協力して料理教室やメニュー開発を行う。未使用魚のメニュー開発なども行いフードロスを考える。 横浜市民の為の料理教室 地元野菜や地元の魚介類の使用。横浜ガストロノミ協議会としてのフードロス削減の取り組み。 横浜の小学生への食育や味覚の授業。 横浜ガストロノミ協議会としての健康レシピ開発。 生産工程で発生する規格外のサイズや形、余剰となってしまった食材などを使用した 『横浜市×崎陽軒「もったいない」を見直そう弁当』、『横浜市×崎陽軒「もったいない」を見直そう弁当2』を発売し、 市民の皆様に購入していただくことで食品ロス削減に取り組んでいただいた。関連企画を計画。 『3R夢なクッキング講座』家庭の冷蔵庫の食品ロスに目を向け、手作りドレッシングを作る料理教室